

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号	59
--------	----

事業区分	一般ソフト事業	事務事業評価の履歴	有			
事務事業名	健康をテーマにした特産品開発(オリーブ栽培事業)					
予算科目	2 款 1 項 15 目					
予算事業名	オリーブ栽培事業					
総合計画での位置づけ	商工業の振興					
担当課	魅力づくり推進課	担当課長	矢山 良寛			
事業担当者	安部 憲一郎	一次評価者	西村 勝			
事業の性格	自治事務					
法令根拠等	-					
事業の対象	町民					
事業の目的	町の個性でもある「健康なまち」を実現していくうえで、オリーブ栽培を通じた、健康増進と新たな雇用を生み出す産業創出を目指す。					
実施期間	開始年度	平成 23 年度から				
	終了年度	平成 年度まで				
事業の内容	平成28年度から本格的に栽培を実施しており、当初から草場オリーブ園で栽培している744本に加え、今後、定植予定の1,070本の苗木の管理を実施。又、上山田オリーブ園に苗木430本を定植。オリーブの特産品開発化に向けた調査事業を実施した。併せて挿し木によるオリーブ苗木の生産も行い、事業化に向けて試験を行っている。					
目的達成の指標	オリーブの実の収穫量					
	区分年度	単位	28 年度	29 年度	30 年度	31年度
	目 標	kg	20	15	10	20
	実 績	kg	2	3		
指標設定の考え方	オリーブの実の収穫量が、適正な管理状況の判断に繋がると考えるため。					
事業遂行時懸案事項等	害獣からの被害対応。 適正な施肥、灌水管理。					
事業実施時懸案事項対応等	害獣対策については、昨年度に引き続き防護ネット設置の強化を実施。 適正な施肥、灌水管理については、九州オリーブ普及協会の指導の下、シルバー人材センターに業務を委託し、実施している。					

PLAN(計画)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 2,266 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません(千円)

項目	28 年度予算	29 年度予算	30 年度予算	31 年度予算
事務量	① 人工数	0.05	0.05	0.10
	② 人件費単価	7,289	7,381	7,350
	③ 補助事業人件費			
	人件費(①×②-③)	364	369	735
事業費	直接事業費	15,456	19,617	12,613
	人件費	364	369	735
	合計	15,820	19,986	13,348
財源内訳	国庫支出金	11,300		
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源	4,520	19,986	13,348
合計	15,820	19,986	13,348	12,735

事業費計画

(千円)

区分/年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度
目標	15,456	19,617	12,613	12,000	
実績	7,448	11,816			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
専門家による栽培指導	回			24	12
		7	24		4

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 1,420 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません(千円)

項目	28 年度決算	29 年度予算	29 年度決算	
事務量	① 人工数	0.05	0.05	0.10
	② 人件費単価	6,768	7,381	7,129
	③ 補助事業人件費		0	
	人件費(①×②-③)	338	369	712
事業費	直接事業費	7,448	19,617	11,816
	人件費	338	369	712
	合計	7,786	19,986	12,528
財源内訳	国庫支出金	3,626	0	
	県支出金		0	
	地方債		0	
	その他		0	
	一般財源	4,160	19,986	12,528
合計	7,786	19,986	12,528	

実施備忘録

自己評価	評価者	安部 憲一郎
------	-----	--------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	2	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	3	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。	4	B
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	B
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	2	
②効率性		
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	3	B
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	4	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	3	B
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 現状のまま維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

健康の町を重要な政策の基点においている当町にとって、健康のイメージが強いオリーブの持つブランド力を活用することは、非常に有効であると考えます。

また、オリーブ栽培事業は初期投資費用が多くかかるため、民間で初めから着手することは難しいことから、オリーブの実がある程度安定して収穫できるまで町が推進していく必要がある。

オリーブの栽培状況は、シカやイノシシ等による食害や圃場の排水状況があまり良くないことから、安定した成長が見られなかったが、シカ避けネットの強化を図り、食害をほぼ防ぐことができたことから、今後は安定的な成長が期待される場所である。(九州オリーブ普及協会からも同様の意見をいただいている)

栽培管理については、九州オリーブ普及協会の技術専門員の指導を定期的に受けながら、シルバー人材センターへ委託しており、効率性を保つよう努めている。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

今年度は、オリーブの開花は多数認められたものの(5月中旬)、梅雨に長雨が続いたため、受粉がうまく進まず結実しなかったため、昨年に引き続き実の収穫量は著しく低下している。

異常気象が原因とのことで、一過性のもに過ぎないが、過酷な気象条件でもきちんと成長していけるように、今後も適正な管理を確実に実施していき、元気なオリーブを育てることに努めていく。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

一次評価	評価者	西村 勝
------	-----	------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ↔ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？		評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。		3	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。		3	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。		3	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。		4	
2. 町が実施する必要があるか？			
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。			
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。		3	B
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。		4	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。		4	
3. 実施内容は適切か？			
①有効性			
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。		4	B
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。		3	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。		3	
②効率性			
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。		4	B
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。		4	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。		4	
③公平性・透明性			
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)		4	B
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。		4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。		3	

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了

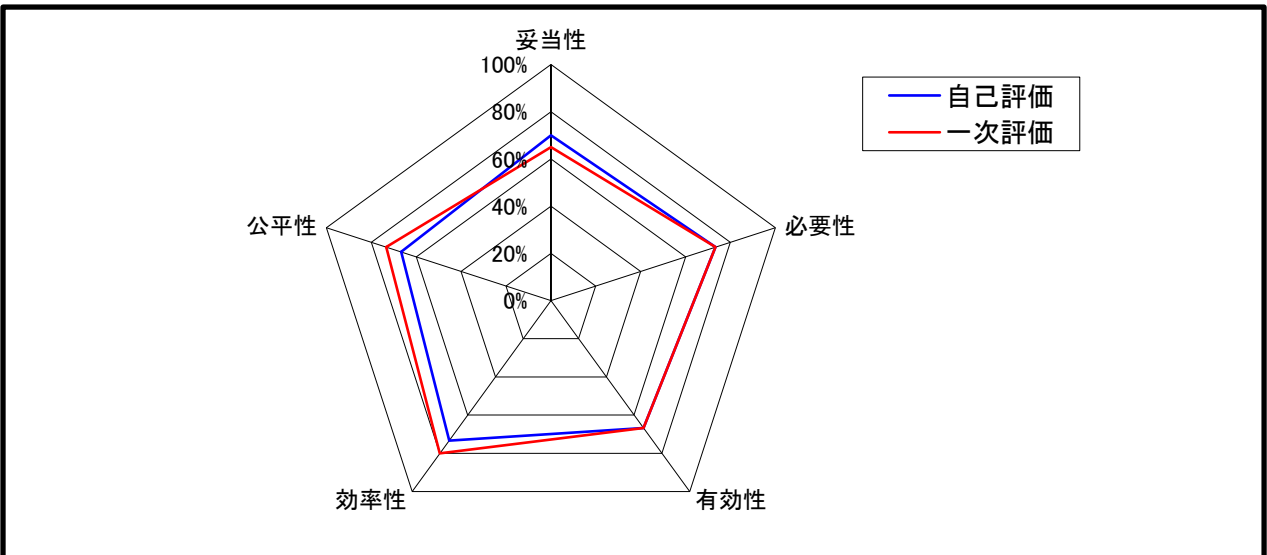


見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

オリーブ事業については、健康ブランドを構築していくためには、苗木や加工品等の販売が重要となってくる。そのため、現在所有するオリーブの苗木を含めた1,777本の生育に力を注ぎ、安定した収穫量の確保を目指す事が重要である。しかし、圃場や植栽管理については、十分な効果が見られていないのも現状である。平成30年度においては、先進地等の育成方法を学び、今後の計画・方針の見直しを実施する。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

二次評価	評価者	矢山 良寛
------	-----	-------

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

安定した収穫量の確保を目指して、圃場整備や生育方法について検証を実施する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり直し、
月 日
までに事務局へ提出すること。



- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。
月 日
開催予定



- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了
 外部評価へ

事務事業の改善案

手段	オリーブの安定的な生育を図るために、他地域でオリーブ栽培に成功している事例に学び、久山町の気候にあった育成方法や管理方法を確立する。
内容	現在の久山町のオリーブ栽培方法については、イタリア、スペインといった欧州や香川県小豆島等の代表的な栽培方法を主に取り入れて行っているが、気温、年間雨量、日照時間といった気候や風土が久山町とは異なるため、九州内で当町と類似した環境で育成に成功しているところに学ぶなどして、久山町にあった栽培方法の確立を目指す。

外部評価

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input checked="" type="checkbox"/> その他

評価	B
----	----------

外部評価委員の意見

多額の予算を投入している以上は、オリーブに対する周知・啓発等、より積極的な情報発信が求められると考える。収穫量の分析やその分析の結果をどの品種に注力していくかを住民に向けて情報発信しながらコンセンサスを得ていかなければならない。

事業開始から5年以上が経過した今、進行か中止かを本年度に議会とともに真剣に議論される時期と考える。精油プロジェクトはコストがかかる上に、オイルも少量しかできない可能性もある。現時点での決定が非常に重要かと考える。

経営者会議

経営者評価者	町長
--------	----

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input checked="" type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	B
----	----------

経営者会議の評価

一部圃場を縮小し、残った圃場での確実な栽培、管理を行うこととしたい。栽培については、様々なところから情報を得ながら実施し、確実に実をつけるところまで成長させたい。そして健康のまち久山をPRできる特産品の開発を継続して行うべきである。